

**畑地性カラーの年末出荷作型における定植時期と栽培温度**

畑地性カラー‘ホットショット’（早生、橙色系）は、9月下旬までに定植し、暖房設定温度10℃で栽培すると、品質が優れる切り花を年末に採花できる。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室（担当者：山方 一範）

**研究のねらい**

花き消費が多様化する中、花色や草姿が豊富な畑地性カラーの需要は高まりつつあり、周年的な安定供給が求められている。しかし、自然開花の作型では出荷期が集中するため作型拡大が求められている。そこで、国内の生産出荷が少ない年末出荷栽培技術の確立を目的として定植時期及び暖房設定温度の検討を行う。

**研究の成果**

1. ‘ホットショット’（早生、橙色系）の平均開花日は、8月下旬定植で10月下旬、9月中旬定植で11月中旬、9月下旬定植で12月上旬となる（図1、表1）。
2. 8月下旬～9月中旬に定植すると、1番花の切花長は70cm以上になる（表1）。
3. 暖房設定10℃の方が、5℃に比べ切花品質は優れ、平均採花日は早まる（図2、図3、表2）。

**普及上の留意点**

1. 使用する球根の大きさによって採花本数が異なるので、エリオチアナ系では100g程度の充実した球根を使用する。
2. 品種により早晚性が異なるため、中生～晩生種では定植を早めること。
3. ‘ブラックマジック’（中生、黄色系）においても、夜温の管理温度による影響は同様である。

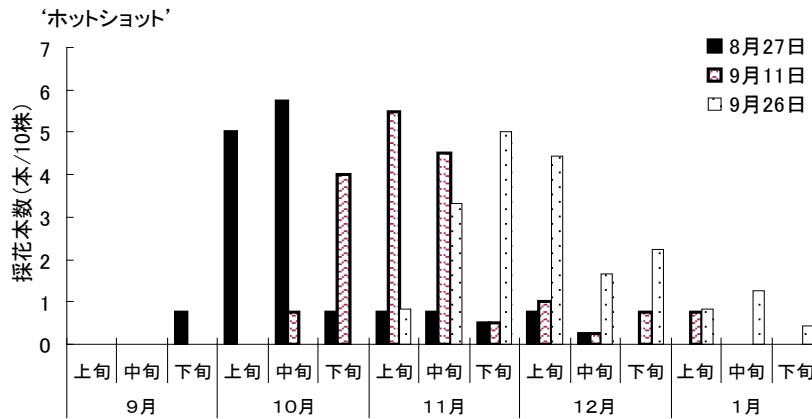


図1 定植時期が採花本数の推移に及ぼす影響

表1 定植日が採花本数及び切花品質に及ぼす影響

品種名	試験区 (定植日)	平均 採花日 (月/日)	採花 開始期 (月/日)	採花 終了期 (月/日)	採花 本数 (本/株)	切花品質			
						切花長 (cm)	切花重 (g)	苞長 (cm)	茎径 (mm)
'ホットショット'	8月27日	10/21	10/10	12/2	1.5	74	34	10.9	6.8
	9月11日	11/15	10/21	1/3	1.8	73	33	11.0	6.8
	9月26日	12/8	11/10	1/17	2.0	68	33	10.3	6.9

※採花本数：9月末～2月末までの採花本数  
 ※採花開始期は、採花開始からの採花本数が全採花本数の10%以上となった日までの平均採花日  
 ※採花終了期は、採花の最終日から遡って採花本数が全採花本数の10%以上となった日までの平均採花日  
 ※供試球根：'ホットショット' (31g～75gの球根を使用した。なお、球根のジベレリン処理は行っていない。)  
 ※球根冷蔵温度：5℃ (6月初旬から定植前まで)  
 ※供試球根数：40球 (8/27、9/11) 及び72球 (9/26区)  
 ※定植場所：ガラス温室 (黒ボク土)

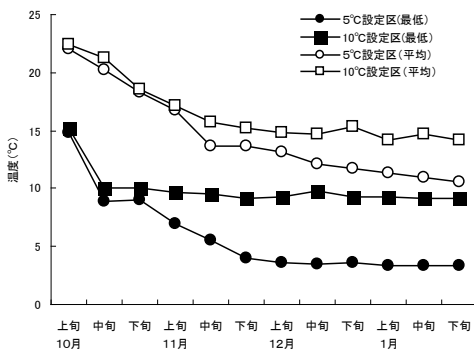


図2 栽培試験期間中の平均温度と最低温度の推移

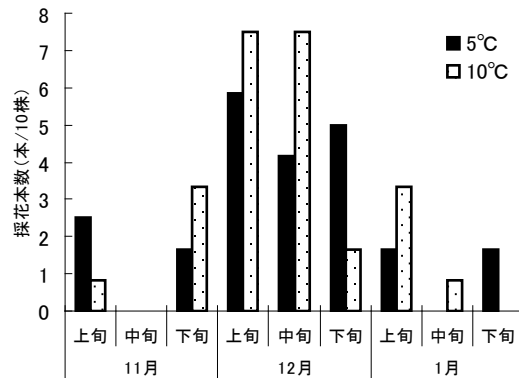


図3 栽培温度が採花本数の推移に及ぼす影響

表2 栽培温度が採花本数及び切花品質に及ぼす影響

品種名	試験区 (加温設定)	平均 採花日 (月/日)	採花 開始期 (月/日)	採花 終了期 (月/日)	採花 本数 (本/株)	切花品質			
						切花長 (cm)	切花重 (g)	苞長 (cm)	茎径 (mm)
'ホットショット'	5°C区	12/20	11/27	1/22	2.3	56	21.3	8.9	6.4
	10°C区	12/14	11/20	1/11	2.3	69	26.5	9.7	6.5

※採花本数：11月～1月までの採花本数  
 ※供試球根：'ホットショット' (25g～100gの球根を使用し、定植前にジベレリン処理)  
 ※採花開始期は、採花開始からの採花本数が全採花本数の10%以上となった日までの平均採花日  
 ※採花終了期は、採花の最終日から遡って採花本数が全採花本数の10%以上となった日までの平均採花日  
 ※供試球根数：12球/区  
 ※球根冷蔵温度：5℃ (5月下旬から定植前まで)  
 ※定植場所：ガラス温室 (黒ボク土)  
 ※定植時期：2008年9月30日  
 ※施肥量：N：P2O5：K2O=1：1：1 (kg/a)